授業科目名(英文名)	航空電子機械工学特別演習Ⅰ(河邉　博康)2014 年度 前期入学生用 (Aeronautical, Electronic & Mechanical Engineering Seminar　I)
担　当　者　名	河邉 博康
学　　年	1
教　科　書	
目的または到達目標	これは特別研究を遂行するための基本的手法の習熟を目的とする科目であり、必修としている。航空電子機械工学専攻は 2 つの研究分野に大別され、学生はいずれかの分野に属して研究を行う。各分野におけるこの科目の指導指針の概要は次のとおりである。 「流体制御システム分野」では、飛翔体の運動の基礎となる流体力学および気体力学に関する最新の論文を解読させたり、これらに関する実験や解析を行わせ、他分野の教員の協力の下で、その内容の討論を行い、得られた研究成果に対する評価や今後の研究課題を具現化させるための指針や手法を習熟
授業内容	本演習では、誘導工学特論A,Bで学習した最適制御理論を航空機の最適制御問題に適用するときに必要となる実際的な手法を習得させることを目的とする。様々な航空機の最適制御問題の具体的な事例に対して、航空機の運動のモデル化、評価関数の設定、種々の拘束条件の加え方などについて、最新の論文や洋書を輪読して演習をしながら理解させる。
関　連　科　目	
受　講　心　得	
課題・質問等の受付方法	
授　業　の　形　式	
履修上の注意または履修条件	
成績評価の方法	
参考文献及び指定図書	